

万博メモリアル

美術編

～大阪・関西万博に寄せて 学校での取り組みを振り返って～

大阪・関西万博が、10月13日に幕を閉じてから、一ヶ月がたちました。

たくさんの人々に夢や感動を届けてくれたこの万博を通して、

吹田支援学校では、各授業で万博に関連した活動を行ってきました。

これまでの取り組みを振り返りながら、万博へ込められた思いに心を寄せたいと思います。



中学部 1 年・美術
B グループ

粘土を使っての自由制作では、ミャクミャクの立体作品に挑戦。丸い形を重ねたり、パーツを組み合わせてたりしながら、独創的なポーズを作りました。完成した作品はどれも表情豊かで、生徒の発想力に驚きました。



各学部 美術などの授業にて

大阪・関西万博で開催された「大阪ウィーク～夏～」7月30日（水）「彩りのピース展～支援学校の子どもたちによるモザイクアートの世界～」に、児童生徒の作品を出展しました。みんなの絵が合わさったモザイクアートの作品を、教員が撮影した動画や静止画で鑑賞しました。

中学部 1 年・美術 C グループ
太陽の塔とミャクミャクを見比べて、
デザインにこめられた意味を学びました。



（題字・イラストは、吉野 久美子 教諭）